

脈を含めた trapping をおこなっても動脈瘤の減圧が得られないことがある。このような場合では、suction decompression 法が非常に有用である。

5 右視床出血, 左未破裂動脈瘤 clipping 後に Abbie 症候群の症状を呈した1例

柿沼 健一・江塚 勇・原田 篤邦
松本 大樹

新潟労災病院 脳神経外科

6 初回手術に bemsheet, fibrin glue, booster clip を使用した脳動脈瘤再クリッピング術の1例

市川 昭道・北沢 智二

更埴中央病院 脳神経外科

初回手術時に booster clip, bemsheet, fibrin glue を使用した右内頸一後交通動脈瘤クリッピング術の約6ヶ月後に、再手術を行った1例を報告した。

症例は、67才女性。発症時 H.&K.grade 5, Fisher group 3 で day 15 に右内頸一後交通動脈瘤クリッピング術を他院にて施行された。この際、clip の先端が完全に閉じていないため booster clip を追加し、さらに dog ear の部分に bemsheet 片で wrapping し fibrin glue が塗布された。その後正常圧水頭症に対し V-P shunt が行われた。当院に転医後の血管撮影では clip の slip out のため dome が殆ど残存していた。最初の手術から約6ヶ月後に再手術を行った。Medos shunt system が皮切線の極く近傍に置かれておりその損傷に注意する必要があった。booster clip は外せたが、slip out した clip は外せず、wrapping material の為に内頸動脈は硬化し再手術を困難にした。結局 slip out した clip に接するように2本の long clip を dome に向け手術を終えた。術後経過は良好で血管撮影では dome も消失していた。

本症例では Acom を介する cross flow は不良で、Pcom を介する back flow は良好な為に premature rupture 時の操作が困難であることから再

手術はかなり危険を伴うものであった。以上より、① broad neck で clip の先端が完全に閉じていない場合は booster clip の追加では不完全で、むしろ long clip を parallel に2~3本かける方が確実である。② wrapping material はたとえ短時間であっても再手術の操作を困難にするだけであり、安易に使用すべきではない。③ V-P shunt 施行前には、術後の血管撮影を実施しておくべきである。

7 Pericallosal aneurysm に対する proximal approach

小泉 孝幸・土屋 俊明・森田幸太郎
佐野 正和

竹田総合病院 脳神経外科

Pericallosal aneurysm に対する手術アプローチに関しては、通常 distal approach が選択される。しかし、脳梁膝部以下に脳動脈瘤が位置する場合、proximal approach も選択されうる。Proximal approach に関しては、多くは interhemispheric approach であるが、症例によっては、orbit-front-zygomatic approach により、clipping が行われる。Interhemispheric app.については、動脈瘤近傍に retractor による無理な力が加わらないように、bifrontal craniotomy に glabelotomy を加えた basal interhemispheric app.で行った2例、orbit-front-zygomatic app.については、lt. BA-SCA aneurysm と同時に clipping を行った1例の計3例の手術例を提示し、pericallosal aneurysm に対する proximal approach につき検討を行った。

Proximal app.の利点としては、①親動脈の中枢側を確保出来る為、temporary clip の使用や動脈瘤破裂時の対応が容易となる。これは特に azygos ACA の症例において重要である。② Distal app.に比してやや広い working space が得られ、より適した clip の選択が可能となる。③基底槽に厚く凝血塊のある症例でも、凝血塊の吸引、洗浄が容易である。④架橋静脈が術野を妨げることが少ない。⑤多発脳動脈瘤症例にも対応し得る。それに対して、欠点としては、① basal interhemispheric fis-